

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら北本教室

保護者等数(児童数) 11 回収数 3 割合 27 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2件	1件	件	件		
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	1件	1件	件	1件		適切に配置していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3件	件	件	件	本人が分かりやすいと言っています。	過ごしやすい環境設定に努めていきたいと思いません。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3件	件	件	件	本人が過ごしやすいと言っています。	心地よく過ごせるよう、環境設定に努めていきたいと思いません。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	3件	件	件	件		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	3件	件	件	件		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	3件	件	件	件		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	3件	件	件	件		・プログラムが固定化されないように、過去に実施した、立案をしていきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	件	1件	件	2件		・コロナ禍のため実施できていませんが、コロナの状況を確認しながら、落ち着いたら実施していきます。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	件	件	件	件		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3件	件	件	件		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	1件	1件	1件	件	他施設での参加の紹介はありましたが、当施設でもやって頂きたいです。	・保護者さまが抱える困りごとに対して助言させて頂く場をもうけていきます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	2件	1件	件	件		
保護者 への 説明 等	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3件	件	件	件		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	件	件	件	3件		定期的な保護者会を検討していきます。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3件	件	件	件		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3件	件	件	件		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3件	件	件	件	ホームページを見ていないため。自己評価の結果の発信についてはよくわかりません。	ホームページやSNS、お便り等で、情報発信しております。自己評価の結果は、事業所内やホームページで公開しております。今後は、公式LINE等も使い、公開していきたいと思いません。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	2件	1件	件	件		
	非常時 等の 対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2件	1件	件	件	発生を想定した訓練実施については、よくわかりません。
21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		2件	1件	件	件		
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	2件	1件	件	件	・とても楽しみにしています。	より安全に安心して過ごしていただけるよう、努めてまいります。
	23 事業所の支援に満足しているか	3件	件	件	件	・気軽に話すことができ、大変助かっています。いつもありがとうございます。	今後も気軽にお話しして頂けるよう、努めてまいります。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月 20日

事業所名 こぼんはうすくら北本教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3件	2件		利用数が定員より大幅に少ないため、粗大運動なども十分行える。広さを活かした活動を検討する。
	2 職員の配置数は適切であるか	5件	0件		
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	0件	5件		教室内にバリアとなる部分があるのでスロープを検討する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3件	2件	毎日の清掃と消毒を行っている。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5件	0件		朝礼や終礼を導入する。アルバイトも社員も参加するカンファレンスを定期的に行う。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5件	0件		業務改善につなげるための会議を定期的に行う。また、その会議で決まった改善策等の保護者への周知をLINEを活用して行う。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0件	5件		職員内での認識が不足していた。改めてホームページ公開の周知を行うとともに、改善策の遂行、結果の報告までをしっかりと行う。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0件	5件		外部評価導入を運営法人に働きかける。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3件	2件		不定期となっている研修を毎月定期的に行う。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5件	0件	児発管2名体制で客観性を担保している。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5件	0件	本部作成のアセスメントシートを使用。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5件	0件	本部作成のフォーマットにより、適切に支援内容が設定できる。	
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5件	0件	事前に個別支援計画を確認してから支援を行うよう指導している。	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	5件	0件	それぞれの職員が企画を持ち寄り検討している。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5件	0件	季節のあわせたプログラムとなるよう企画している。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5件	0件	集団プログラムとは別に個別活動の時間を設けている。	
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	2件	3件		打ち合わせが個々の職員の裁量に任されているので、勤務している職員全員が参加して行う打ち合わせを検討する。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2件	3件		送迎後の振り返りとなると時間を作るのが難しいため、書面や翌日の振り返りができないか模索する。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4件	1件		記録は行っているが、内容に関しては検討が必要。次の支援につながる内容を記録する。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5件	0件	モニタリング時期の管理を一覧表にしている。	継続して実施していく。	
関係機関や保護	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5件	0件	児発管が参加。	
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5件	0件		
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0件	5件		
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0件	5件		
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5件	件	移行期には支援の内容等を文書にして関係機関に提供している。	継続して実施していく。

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5件	0件	送迎の際に少ない時間ではあるが、日々の様子や相談など行っている。	継続して実施していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5件	0件	関係機関を訪問して研修を受けるなど、連携に努めている。	継続して実施していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3件	2件		交流の機会はあるが、今後は集団プログラムの一環として行っていくよう検討してみる。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	0件	5件		地域の行事に参加したことはない。まずはどのような会があるのか調べてみる。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3件	2件		送迎や連絡帳で得た情報は、児発管をはじめ職員間で共有し、子どもの状況や課題についての理解を事業所としての共通認識としておく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0件	5件		送迎の際などに保護者から受けた相談事は、一度事業所に持ち帰って児発管を含めた職員間で検討し、事業所としての助言として発信するようにする。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4件	1件	契約時の丁寧な説明。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5件	0件	本部作成のフォーマットが、適切な「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容となるようになっている。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5件	0件	相談を受けた場合は個人の意見とならないよう、一度事業所に持ち帰って検討するようにしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0件	5件		保護者会や授業参観の開催を検討。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5件	0件	相談があった場合は速やかに管理者、児発管に報告を行うルールとしている。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5件	0件	マニュアルがいつでも確認できるように設置している。	継続して実施していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5件	0件	避難訓練を集団プログラムとして利用児童も参加のもと行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5件	0件	利用契約の際にアセスメントシートによって確認している。	継続して実施していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5件	0件	利用契約の際にアセスメントシートによって確認している。	継続して実施していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5件	0件	いつでも確認できる場所に設置し、事例があった場合は職員間に周知している。	継続して実施していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5件	0件	研修動画視聴を活用。	継続して実施していく。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3件	2件		身体拘束の定義や、やむを得ない場合の切迫性、非代替性、一時的であることの理解が不足していた。虐待防止研修にて、日常起こりえる身体拘束についてフォーカスした内容を盛り込む。	